

まちづくり活動提案書

(地域“魅力”アップ部門 ・ “はじめの一步”部門)

※助成を受けようとする部門を○で囲んで下さい

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

団 体 名	音楽サークル ドラむす		
提 案 名	みんなで音楽たのしもう！ ～ パネルシアターでうたの世界を表現してみよう ～		
提案活動を行 う 地 域	名古屋市瑞穂区惣作町周辺 ほか		
提案の背景	(活動を提案するに至る問題・課題などの背景を、簡潔にご記入ください。) ・障がいのある人々が地域の中で活躍する場をつくり、障がいに対する理解・促進をより多くの住民の方に知っていただく機会としたい。 ・地域と本団体がつながり、より多くの人と楽しむ時間を共有したい。		
提案活動の 目的・目標	(活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください) ■目的 本団体で活動する障がいのある人々と地域住民との交流の場をつくる。 様々な人とつながり、活動における協力者、サポーターを募っていく。 ■目標 ・障がいのある人と一緒にパネルシアターに挑戦し、ステージで披露。 ・ワークショップの開催 地域住民の参加：1回 10名 計 3回 30名 ■成果 障がいのある人が生き生きと楽しそうに活動する姿を次世代を担う子どもたちや地域住民に見ていただいたり、一緒に楽しめる空間をつくることで、「障がいのある人を身近に感じる」ことができ、障がいのある人への理解・促進(福祉教育)につなげることができる。		
提 案 の 容 容	(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。) (活動A)パネルシアターでうたの世界の表現にチャレンジ！ ・障がいのある人とともにパネルシアターに関する学習 → 講師を呼び、実際に障がいのある人にパネルシアターを知ってもらう。 ・障がいのある人とともにパネルシアターを制作 ・障がいのある人とともにパネルシアターでうたの世界の表現 → 3月に瑞穂生涯学習センターで行われる春のこどもまつりにて披露する。 (活動B)手作り楽器制作ワークショップの開催 障がいのある人と地域住民(主な対象は子どもを想定)と一緒に楽器制作を行い、つくった楽器で音楽セッションを行い、お互いに交流を図る。 (活動C)障がいのある人もない人も、ともに楽しむ音楽活動 ・月1回 定期練習の開催 年3回 ステージ発表を行う。 (活動D)広報・宣伝活動 ・団体リーフレット作成・配布 ・ワークショップ参加者募集のチラシ作成・配布、広告掲載 ・広報誌(ドラむす新聞)の作成・配布		
活 動 期 間	平成28年4月～平成29年3月	助成金交 付申請額	13万円

2 提案内容の視点

以下の視点で提案内容についてご記入ください。

<p>審査基準① 必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・地域との連携や協力が得られる活動か ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か ・工事を伴う活動の場合、公益性、公共性のあるものか
<p>(提案活動の必要性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。</p> <p>障がいのある人の休日の過ごし方については、少しずつ社会的活動をする団体が増えてきているが、まだまだ社会とのつながりが希薄で、家族に依存している生活であり、休日には大半の方が家やグループホームなどで過ごしていることが明らかになっています。(きょうされん「障がいのある人の生活実態調査(平成24年10月1日)」)そんな社会状況の中、今までドラむすが果たしてきた役割は大きなものがあると考えます。これまで以上に、障がいのある人が活躍できるような活動や中身を考え、今回の提案活動を行うこととしました。</p> <p>活動 A、C に関しては、うたの世界を障がいのある人自身が一緒に絵や音楽で表現し、多くの方に見ていただくことで、障がいのある人への理解・促進につなげることができ、だれもが安心して自分らしく暮らせる地域をつくりだすことができます。</p> <p>活動 B に関しては、障がいのある人と地域の子どもたちが一緒に同じものを制作し、楽しむことでお互いが交流し合い、より多くの子どもに障がいのある人を身近に感じてもらうことができ、障がいのある人への理解・促進につなげることができると推測します。</p>	
<p>審査基準② 独創性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫にあふれた活動か ・地域性を活かした個性豊かな活動か ・新しい視点やアイデアがあるか
<p>(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>このような障がいのある人に対する活動によくある形は、障がいのある人たちのために活動を行うということが多いです。しかし、本団体が最も重要視したいことは、「障がいのある人・ない人、大人・子ども関係なく、同じように音楽を楽しむ」ということにこだわっているということです。もちろん障がいのある人自身が参加できるような配慮や工夫は必要ですが、障がいのない人や子ども自身も楽しめ、教える教わるという関係もなく、みんなが同じ立場(対等な立場)で一緒に楽しめる空間、自由さを持っているところが最大の特徴です。また、このような空間、居場所は、ほかにあまりないように感じています。さらに、今回の提案活動を行うことでより多くの方々に本団体を知っていただき、地域住民の方と障がいのある人々との関係をつくっていく一助とし、より多くの方に障がいのある人への理解・啓発を考えていただく機会となることが期待されます。そして、だれもが安心して自分らしく暮らせる地域、街をつくりだしていけると考えています。</p>	
<p>審査基準③ 実現性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容が具体的になっているか ・自己資金を含め、活動内容や資金計画などは妥当か ・場所や人員、規模などは妥当か
<p>(提案活動の実現性について上記観点から分かりやすくご記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己資金については、サークル員から徴収するサークル費やこれまでの団体繰越金などがある。 ・活動にかかるメンバーは提案書提出以前から役割を分担し、すでに各活動実施に向け準備を進めている。 ・瑞穂生涯学習センターを拠点とし、活動を進めていく上で、センターを活用している他団体ともつながり、参加者募集や広報活動などの部分で協力をお願いしていく。 ・活動 B を瑞穂生涯学習センターが募集する自主グループが行う講座として運営していく予定がある。 	

審査基準④ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか ・工事を伴う活動の場合、成果物はまちづくりにどのように活かされるか
(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)	
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の活動をきっかけに、本団体をより多くの人に知っていただき、より多くの場所で演奏活動をし障がいのある人自身が社会の中で活躍できる場を増やしていきたい。 ・本団体のような、障がいのある人自身が活動できる場をもっとたくさんの方でつくっていききたい。そのためには、名古屋で先駆的に活動してきた団体として、これから活動していく団体へアドバイスができるようになる。 ・将来、活動拠点を整備し、障がいのある人自身が関わる文化活動の情報を集め、様々な地域へ障がいのあるパフォーマーを派遣するような事業を行いたい。 ・提案活動の実施を行うことで、地域の方々に本団体を知っていただき、上記したような将来の夢が実現できるようにすることや、だれもが安心して自分らしく暮らせる地域、街をつくりだせるようにしていきたい。 	
審査基準⑤ 活動実績 と主体性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか ・具体的にどんな熱意を注いでいるか ・工事を伴う活動の場合、自ら主体となって工事を行い、継続的に維持管理する能力があるか
<p>※「はじめの一步部門」は審査の対象とはしません。 ※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。 この場合、公正を期するため、A4判3枚(両面)までを限度とさせていただきます。</p> <p>(団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・2006(平成18)年ごろから瑞穂生涯学習センターを活動拠点としている。 ・福祉施設などではなく、自治体などの助成等も受けないまま、自主財源で11年も活動を地域の中で行っている。 ・運営のすべてがボランティアで行われており、自分たちでできる範囲を考え、活動を続けていけるようにしている。 ・障がいのある人にとっての貴重な余暇活動(社会的な活動)の場となっており、地域の中でのイベント等に参画することで障がいのある人自身の理解・啓発活動を行っている。 ・地域の中でのイベント等において、自分たちが楽しむだけではなく、地域の様々な人と一緒に楽しむことを目的に一緒に音楽を楽しむ場を提供してきている。 ・今までの活動を糧にしながら、今後の活動にも地域の中で障がいのある人が活躍できるようサポートしていける。また、今後も障がいのある人への理解・促進活動が取り組まれていくことが期待され、より多くの人に活動に共感してもらえるようにすることができる。 ・このような活動を行うグループが様々な地域に生まれていけるよう、11年間行ってきた経験を生かし、新たに活動を始めていくグループの先導者として活動を行えると思われる。 	

3 提案活動にあたり他団体、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等と取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
・四恩社(京都市に拠点をおく出版社)	・4月24日パネルシアター制作における講師依頼 パネルシアター備品の購入
・わくわくみずほまつり実行委員会	・4月26日わくわくみずほまつり実行委員会 参画
・真宗大谷派名古屋別院	・4月19日 特別催事「想像と創造—つなぐフェスター—」 参画
・瑞穂生涯学習センター	・自主グループ講座開催および春のこどもまつりへの参画

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。